



臨床心理基礎実習の講義を受ける臨床心理コース1期生11人

特集

子どもたちの未来を守りたい

大学院人間文化研究科

臨床心理コースを開設!

- 01 特集
- 02 卒業式・修了式、入学式／お知らせ
- 03 TOPICS
- 04 名市大発見!／開学70周年に向けて
- 05 学生の活躍／国際交流
- 06 受賞関連／2017年度 新体制／教員著書・発行物紹介
- 07 イベントカレンダー／寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えます。

ご寄附のお願い

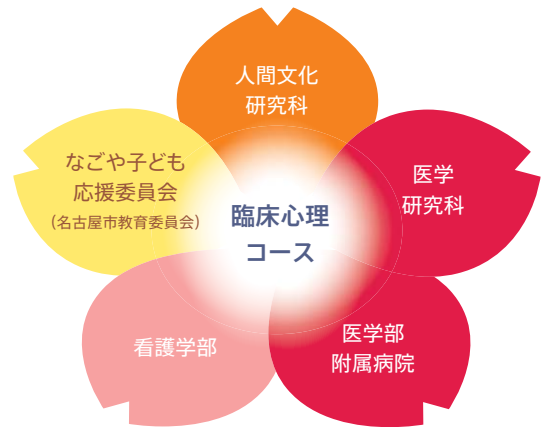
名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課
tel.052-853-8005

子どもたちの未来を守りたい

大学院人間文化研究科 臨床心理コースを開設!

児童生徒のいじめなど、学校が抱える課題へ対応するため、名古屋市は2014年度より市立中学校に「なごや子ども応援委員会」を設置し、心の問題を抱える児童のケアに取り組んでいます。さらにこうした取り組みをより充実させていくため、非常勤に替わる、常勤スクールカウンセラーを市立中学校に配置していく方針です。そこで、スクールカウンセラーなどの優秀な臨床心理士を育成するため、本学では名古屋市教育委員会と連携し、2017年4月、人間文化研究科人間文化専攻に臨床心理コースを開設しました。



大学院人間文化研究科人間文化専攻 臨床心理コース

特色

- 名古屋市教育委員会・なごや子ども応援委員会との連携
- 医療系(医学研究科・医学部附属病院・看護学部)との連携

学内外の強い連携のもと、援助チームの一員として他職種と協働し、教育現場や医療現場などさまざまな領域で活躍できるような臨床心理士の養成を目指します。

カリキュラム

臨床心理士資格試験受験資格に必要な科目はもとより、学外実習やスーパービジョン[※]演習などの応用実践科目も充実させています。これにより即戦力の高度なスキルを備えた臨床心理士の育成を目指します。

※スーパービジョンとは?

自分のカウンセリングの精度を高めていくため、経験が豊富なカウンセラーに指導を受けること。

「医療心理センター」もあわせて開設!!

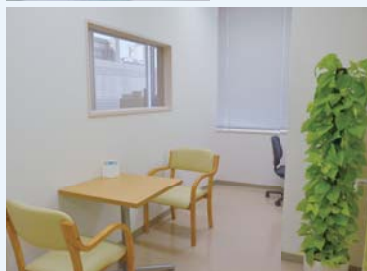
2017年4月、市民の方々のこころの健康と幸福に貢献するため、即戦力となる高度なスキルを身につけた臨床心理士・精神看護専門看護師を養成する機関として設置しました。医学研究科・医学部附属病院・看護学部・人間文化研究科が連携し、人材育成、心理学に関わる学際的で先進的な実践研究を行います。

臨床心理相談室

臨床心理士資格を有する大学教員の指導の下、主に臨床心理コースの大学院生が心理相談を担当する実習施設です。医学研究科および医学部附属病院の協力の下、医学部附属病院外来棟4階に相談室を開設しています。相談内容の例として、学校・職場・家庭での悩み、子どもの発達の相談、メンタルヘルスに関する相談、家族の相談などさまざまなこころの相談に応じます。



多様なニーズにお応えするため、さまざまなタイプの相談室が用意されています。



ごあいさつ



医療心理センター 副センター長(医療担当)

明智 龍男

(医学研究科 教授)

当院では緩和ケアや周産期医療の領域で心理士の先生が既に活躍していることもあり、医療分野における活躍には大変強い期待が寄せられています。心理分野と病院が一体となって心理士の養成を行っている施設は全国的にも数少なく、本学の医療心理センターが日本をリードしてまいる所存です。



医療心理センター 副センター長(教育担当)・臨床心理相談室室長

山中 亮

(人間文化研究科 教授)

今後は優秀な臨床心理士を輩出できるよう教育体制の充実を図り、市民の皆様の方々の心身の健康と幸福に少しでも貢献できるよう相談体制の拡充を図ってまいりたいと考えております。今後ともご支援の程、何卒お願い申し上げます。

臨床心理コースと医療心理センター・臨床心理相談室の開設にあたっては、学外学内のさまざまな方々のお力添えを賜りました。この場をお借りして御礼申し上げます。

平成28年度卒業式・修了式、平成29年度入学式が 名古屋国際会議場にて行われました

卒業式・修了式 2017.3.24 FRI

入学式 2017.4.5 WED

例年よりも少し寒い春、満開間近の桜が咲く本学から1,005人(学部生822人、大学院生183人)の卒業生が巣立ち、1,066人(学部生848人、大学院生218人)の入学生が新たに本学の門を潜りました。



入学生宣誓(外国人留学生代表 クヌリマ・フェルドウスさん)

入学式



学位記授与

卒業式
修了式

学長式辞

名市大は今年67歳の7研究科からなる7人家族です。家族は年齢や専門性が異なるだけでなく、4つのキャンパスに離れて住んでいますが、お互い慈しみ合い「オール名市大」で何事にも取り組んでいます。

教職員一同は、学生の皆さんをわが子のように「愛し、誇り」に思っています。世界をリードする大学を目指し飛躍する名市大での活動を通して、世の中に役立つ逸材となってください。

名古屋市立大学 理事長・学長
郡 健二郎

■学長式辞の全文は本学ウェブサイトで公開しています。 <http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/president/address/>



大きな志を持ってもらいたいと意志を込め「凌雲之志」を揮毫して贈りました。

郡学長の式辞において、学生の活動をいくつか取り上げ、スライドで紹介しました。

〈主な内容〉

- 名古屋市大学生消防団の活躍
- 看護学部 陸前高田市枠推薦入試 第1期生の卒業と第5期生の入学
- 熊本地震のための募金活動



お知らせ

▶ 郡健二郎理事長・学長が 公立大学協会の会長に指名されました

公立大学協会は、公立大学の発展と、わが国の教育・研究の振興に寄与することを目的として、1949年10月に設立された一般社団法人です。設立当初は33校でしたが、この10数年間、看護大学の新設や、私立大学の公立大学化により89大学に急増し、現在では国立大学協会(86大学)よりも多くなっています。このことから公立大学協会に課せられた責務の重さと社会からの期待度は日々増えています。



■コメント

公立大学は、国立と私立の狭間に埋もれがちになっています。公立大学の存在意義を高めるべく、89大学の多様な特徴を生かし強い連携のもと、私は、突然ご指名いただいた大役を微力ながらも務めてまいりたいと存じます。とりわけ、少子化が続き大学運営が厳しくなる中、社会から信頼される公立大学の発展に寄与したいと思います。

▶ 医学研究科の杉浦真弓教授が 第70回 中日文化賞を受賞しました

中日文化賞は、中部地方にゆかりがあり、学術、人文・芸術、芸能などの分野で文化の向上に寄与した個人や団体に贈られる賞です。本学の不育症研究センター長でもある杉浦教授は、不育症の原因究明と妊娠適齢期啓発への貢献が評価され、第70回の栄えある受賞者の1人に選ばれました。この受賞が杉浦教授、そして大学の「誉れ」として、今後も研究力の向上や大学の発展に寄与することが期待されます。



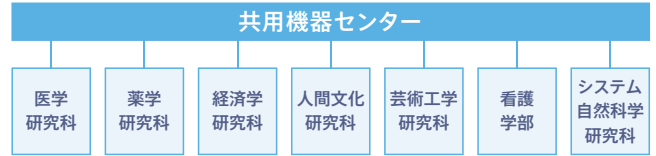
■コメント

数多くの優秀な研究者の中からお推薦いただき、貴重な賞をいただくことができました。大変光栄に存じます。共同研究をしてくださった皆様、ご指導してくださった皆様、産科婦人科の同僚にも心から感謝申し上げます。

公立大学初!

先端研究基盤共用促進事業に採択されました

文部科学省の平成29年度「先端研究基盤共用促進事業(新たな共用システム導入支援プログラム)」に、大学院医学研究科と薬学研究科の2つの研究組織が採択されました。今後は、新たなシステムとして設置した共用機器センターのもと、各研究科・学部の研究施設・設備の共用化を促進し、より良い研究環境の整備を推進します。



■先端研究基盤共用促進事業に関する詳しい内容は文部科学省ウェブサイトから以下のページをご覧ください。
http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/shisetsu/1382581.htm

DATE 4.20

第5回 医・薬・工連携フォーラム 「医療情報・人工知能(AI) 講演会」を開催!

個人に合った質の高い医療を提供するため、多様化した情報収集の解析と活用方法が注目されています。本フォーラムでは、講演者に奈良先端科学技術大学院大学の松本裕治教授、中村哲教授、田中宏幸特任助教をお招きして、知能コミュニケーション研究の医療情報への応用などについて、ご紹介いただきました。今後も様々なテーマを取り上げ、研究の深化と発展に寄与する機会を提供していく予定です。



DATE 3.2

経済学部×中日新聞社 寄附講座に関する覚書を締結!

中日新聞社の記者らが講義をする寄附講座「現代経済・経営特論Ⅰ～中部経済の企業物語～」が2017年度後期から始まります。それに先立ち、覚書締結式を行い、中日新聞社 小出宣昭社長と郡学長が代表して署名しました。中部経済圏の企業の成り立ちについて現場の知見を得られることは貴重であり、大学の「学識」とジャーナリズムの「経験」の相乗効果による「学識経験者」の育成が期待されます。



中日新聞社との記念撮影

DATE 2.12

名古屋市立大学×名古屋学院大学×名古屋工業大学 「なごやかモデル」市民公開シンポジウムを開催!

本シンポジウムでは、「これから始まる都市の超高齢化～健康で長生きするために～」をテーマに、行政や大学の専門家による講演、学生の地域活動報告などを行い、300人以上が参加しました。名古屋市緑区の鳴子団地内に設置したCHCセンターとテレビ会議システムでつないで双方から意見を出し合うなど、市民・学生・教員が一緒に今後の都市高齢化問題について考える良い機会となりました。

「なごやかモデル」とは?
 住み慣れた土地で豊かに老いを迎え、その人らしく暮らすことのできる社会を支える医療人を育成する文部科学省未来医療研究人材養成拠点形成事業。

■詳しくは「なごやかモデル」ウェブサイトをご覧ください。
<https://nagoyaka-model.jp/>



テレビ会議システムを使った意見交換



医学部附属病院×名古屋市病院局 医師人事交流制度を発足!

2017年度より、高度先進医療を推進し、優れた医師の確保と育成を図ることを目的に、本学と名古屋市病院局との医師人事交流制度を発足させました。本学および東部・西部医療センターの医師を相互に配置し、大学および両センターにおいて、横断的に診療・教育・研究活動を行うことで、相互のさらなる連携を図ります。2017年4月1日付で、本学からは3人の教授(診療担当)、2人の准教授(診療担当)、病院局から11人の教授(診療担当)が任命されました。

DATE 3.22

大学評価(認証評価)の結果が 公表されました!

平成28年度に本学が受審した大学評価(認証評価)の結果が公表されました。認証評価は、学校教育法により全ての大学が定期的に受けることを義務づけられており、本学は認証評価機関である大学基準協会より【本協会の大学基準に適合していると認定する。】と評価されました。認定の期間は2017年4月1日から2024年3月31日までです。

■評価結果は、本学ウェブサイト認証評価のページで公表しています。
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/evaluation/authentication/>



名古屋市立大学×緑区役所 連携協力協定を締結!

DATE 3.16

2016年6月の瑞穂区役所との協定締結に引き続き、これまで、生涯学習や人材育成などの分野において連携・協力を進めてきた緑区役所と、連携協力協定を2017年3月に締結しました。

今後も双方が多様な分野で相互に協力することにより、区民がいきいきと暮らせる笑顔あふれるまちづくりに寄与するとともに、大学の教育研究の充実や学生の実践力の養成を図ります。



郡学長(右)と握手を交わす榎木厚緑区長(締結時)

名市大発見!

知れば知るほど好きになる!
名古屋市立大学の知られざる豆知識を紹介します。

第3回 「緑区と薬学部の深い縁」

薬学部のルーツは、今から133年前の1884年に設置された名古屋薬学校で、現在の中区御園小学校内の地にありました。その後、薬学部の前身となる愛知高等薬学校が、現在の名古屋市の南東部、16区で人口が最も多い緑区に設置されました。

その場所とは、見晴らしのいい高台として親しまれている、現在の滝の水公園。当時の学生は、この地を「ヤマ」と呼んでいたようで、敷地から南西を臨むと伊勢湾が見えたそうです。また、絞りのまちで有名な有松や鳴海にも、多数の学生が下宿していました。

現在、緑区には大学が1つありませんが、名古屋市と関係の深い本学が、緑区の地に足跡を残していたことを思うと、愛着が湧いてきますね。

(参考文献:名古屋市立大学 薬学部百年)



過去の写真などが施された銘版が滝の水公園に設置されています

医学部附属病院

ハイブリッド手術室を含む手術室3室を増設!

医学部附属病院では、ハイブリッド手術室と4K内視鏡手術室を含む手術室3室を2017年4月に増設しました。ハイブリッド手術室では、高度な血管内治療を行うため、術中にX線撮影や透視ができる設備を備えています。また、4K内視鏡手術室では、手術映像を4Kの鮮明な映像で確認することができます。これらの設備を活用し、今後も高度急性期病院としての役割を果たしていきます。



ハイブリッド手術室

DATE 4.3



医学部附属病院

6階食堂がリニューアルオープン!

病棟・中央診療棟6階の食堂が新たな装い・メニューでリニューアルオープンしました。これまで以上に豊富なメニューを取り揃え、お手頃な価格で提供していますので、ご来院の際にはぜひご利用ください。

■営業時間:8時~19時(定休日:土・日・祝)

DATE 3.11

芸術工学研究科

不安を和らげる医療空間へ!

「アートで医療が変わる」

講演会を開催

医療現場におけるアートの役割について考える講演会を開催し、建築設計・デザイン分野を中心に約100の方が参加しました。英国のホスピタルアート事情、医療空間の照明デザイン、病院でのアート制作、病院経営におけるアート導入の効果など、4人の講師が講演。意見交換後、医学部附属病院アトリウムに展示されている作品(芸術工学研究科 藤井尚子准教授制作)を鑑賞しました。



医学部附属病院アトリウムに展示中の作品(展示期間未定)



左から、芸術工学研究科 鈴木賢一教授、名古屋第二赤十字病院 田中太平洋氏、耳原総合病院 奥村伸二病院長、芸術工学研究科 藤井尚子准教授

For the 70th anniversary of NCU's founding

2020年で開学70周年
開学70周年に向けた様々な取り組みをご紹介します。



2017年3月23日(木)、開学65周年記念事業実行委員会を開催しました。本学役職者の他、後援会・同窓会・校友会・大学祭実行委員会の役員など、学生を含むメンバーが参加し、事業の写真・映像を鑑賞しながら、2015年度に実施した開学65周年記念事業を振り返るとともに、実施報告を行いました。今後も学部・研究科や世代の垣根を越えて、本学の未来について考える意見交換の場として、開学65周年記念事業実行委員会を実施していきます。



学生の活躍

経済学部

電卓の速さで4連覇! 全日本電卓競技大会で優勝

2017年1月15日(日)、日本電卓技能検定協会主催の全日本電卓競技大会で、経済学部4年の杉本浪乃さんが個人・団体・読み上げの全種目で優勝し、個人については全国4連覇を果たしました。杉本さんは三澤哲也教授のゼミでファイナンスデータ分析などを学んでおり、膨大なデータ処理の課題にも電卓操作技能を生かしています。



杉本浪乃さん

この競技は電卓の速さと正確さを競う大会です。直前の東海大会予選で、プレッシャーや焦りから大失敗をしてしまったのですが、全国大会に向け短時間でも集中して、毎日練習することを心がけました。来年の大会でも連覇の記録を伸ばせるよう練習を重ねていきます!



芸術工学部

特殊効果・特殊メイクに挑戦! 映画「めがね ときどきくもり 新訳/七つの大罪」を上映

2017年3月18日(土)、芸術工学部映像研究室の学生ら制作による映画「めがね ときどきくもり 新訳/七つの大罪」を名古屋市瑞穂文化小劇場で上映しました。映像研究室では毎年映画

を制作・上映しており、本作品では特殊効果・特殊メイクにこだわった内容です。上映中には舞台上で演劇や生演奏が行われるなど、観客を映画の世界へと引き込みました。

看護学部

遊びや足湯を通して交流! 小児病棟でのボランティア活動

看護学部の成育保健看護学ゼミでは、医学部附属病院の小児病棟で入院中の子どもたちを対象とした遊び・学習支援や、付添の方への足湯の提供を行っています。子どもたちやそのご

家族にご好評いただいている他、看護専門職を目指す学生たちにとっては、子どもたちとのコミュニケーションを通して学ぶことのできる実践の場にもなっています。



国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE

中国薬科大学と交流協定を締結

2017年1月5日(木)、中国薬科大学と大学間交流協定を締結しました。今回の締結により、海外の大学間交流協定校は33校となりました。

薬学研究科 × 韓国 梨花女子大学薬学部

学部間学術交流協定を締結!

2017年2月22日(水)、薬学研究科が韓国の梨花女子大学薬学部と学部間交流協定を締結しました。2月21日(火)から2日間、梨花女子大学の薬学部長を含む教員2名を薬学研究科へ招へいし、締結式に引き続き、両大学での教育・研究活動の紹介や、今後の学術交流に関する意見交換を行いました。



左から、梨花女子大学 Sun Choi教授・Seung-jin Lee学部長、薬学研究科 平嶋尚英前研究科長・牧野利明教授

薬学研究科 × 中国 瀋陽薬科大学

在学生と交流も! ショートステイ研修

2017年2月19日(日)・26日(日)から1週間、薬学研究科が中国の瀋陽薬科大学からそれぞれの日程で2人ずつのショートステイ研修を受け入れました。瀋陽薬科大学からのショートステイ研修は毎年実施しており、今年は5年生3人、4年生1人の計4人の学生が、各研究室・病院薬剤部の見学や茶道体験などを通



して、研究分野だけでなく日本文化も学びました。

薬学研究科在籍の中国人留学生(左3人)と瀋陽薬科大学の学生(右2人)と一緒に茶道体験

★ 名誉教授称号授与

以下の各位に、2017年4月1日付で名誉教授の称号が授与されました。それぞれの専門分野において研究・教育に尽力される一方、本学の発展および管理運営に大きく貢献された各氏に、多年にわたるご尽力を感謝するとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。

- 医学研究科 竹山 廣光 教授
- 薬学研究科 今川 正良 教授
- 経済学研究科 森 徹 教授
- 芸術工学研究科 岡村 穰 教授
三上 訓顯 教授
- システム自然科学研究科 森山 昭彦 教授
清水 昭信 元教授
- 看護学部 北川 真理子 教授



平成29年 春の褒章

紫綬褒章は科学技術分野における発明・発見や、学術およびスポーツ・芸術文化分野における優れた業績を挙げ、社会に貢献した方に対して授与されます。ご受章を心よりお祝い申し上げますとともに、今後のご活躍をお祈りいたします。



紫綬褒章

受章者：
上田 龍三
名古屋市立大学名誉教授
元 医学部附属病院長
(現 愛知医科大学教授)

PRIZE 受賞

※受賞期間：2017年1月1日～4月30日 ※研究科ごと・受賞日順に掲載

■薬学研究科



日本毒性病理学会
食品農医薬品安全性評価センター
望月喜多司記念業績賞
特任教授
津田 洋幸

■芸術工学研究科



2016年度 日本建築学会東海賞
論文賞
准教授
張 景耀

■医学部附属病院



第73回 日本放射線技術学会
総会学術大会
CyPos賞 Bronze Award
診療放射線技師
北川 裕人

2017年度 新体制を発足

2017年4月から医学部および医学部附属病院それぞれが所管していた業務を集約し「事務課」、「教育研究課」、「経営課」、「医事課」の新体制にするとともに、学生課と入試課を再編し、入学者選抜からキャリア支援、留学生などを一貫して所管する新たな「学生課」へ発展的に改組しました。また、医学部附属病院では新たな診療科として小児泌尿器科を新設しました。

このような組織改編を行うとともに、新たに特命学長補佐を設置し、大学経営の安定化、関連病院との連携強化などの特命事項に取り組むなど、今後も戦略的かつ機動的に歩んでまいります。

■新たに就任した理事・学長補佐



理事(病院)・医学部附属病院長
小椋 祐一郎
(医学研究科 教授)

専門は眼科学で、1997年に本学医学研究科教授として着任して今年でちょうど20年になります。城卓志前病院長の後任として、全職員の協力のもと、病院の更なる発展・活性化に向けて一生懸命努力する所存ですので、何卒よろしく願っています。



学長補佐(産学連携、広報)
平嶋 尚英
(薬学研究科 教授)

産学連携と広報、これら2つの項目はともに本学が飛躍する上でキーとなる重要なことだと認識しております。浅学非才の身でございますが、皆さま方のご指導・ご助力を得て、本学を産業界から、そして、世界から注目される大学に一步でも近づけるために努めてまいります。どうぞよろしくお祈り申し上げます。



2016年7月
出版：デザインエッグ株式会社

教職大学院で現職教員と共に開発した授業実践

編著者：人間文化研究科
教授 原田 信之



2017年1月
出版：風間書房

保育行為スタイルの生成・維持プロセスに関する研究

著者：人間文化研究科
准教授 上田 敏文



大学間交流協定を締結しているペーチ大学(ハンガリー)を中心とする研究者との共同研究の成果!

2017年3月
出版：刀水書房

移動がつくる東中欧・バルカン史

編者：人間文化研究科
教授 山本 明代
パプ・ノルベルト氏(ペーチ大学准教授)との共編

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

地域連携セミナー

開催日	内容	時間・場所・費用・定員	申込方法
7.22 SAT	いつまでもおいしく食べるために ～食べるこ、飲み込むことについて知ろう～ 講師:医学部附属病院看護部 主任 吉田 佳代	13:00～15:00 桜山(川澄)キャンパス 看護学部棟3階308教室 費用:500円(資料代) 定員:先着100人	インターネット(名古屋市電子申請サービス)または FAXのいずれかの方法でお申し込みください。 FAX:052-853-8042 申込締切:7月11日(火)必着 詳しくは看護実践研究センターウェブサイトをご覧ください。 http://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/

芸術工学部 卓展

開催日	内容	時間・場所・費用・申込方法
8.18 FRI - 8.20 SUN	芸術工学部 卓展 学生主体で行っている成果発表の展覧会です。	10:00～17:00(8月20日(日)のみ16:00まで) 北千種キャンパス 費用:無料 申込不要 詳しくは芸術工学部ウェブサイトをご覧ください。情報が確定次第、順次公開します。 http://www.nagoya-cu.ac.jp/sda/

サイエンスカフェ in 名古屋

開催日	内容	時間・場所・費用・定員	申込方法
6.16 FRI	第121回 「結晶表面のうずまき模様 ～結晶が成長するしくみについて～」 講師:システム自然科学研究科 准教授 三浦 均	18:00～20:00 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th cafe(セブンスカフェ) 費用:600円 (飲み物+お菓子) 定員:各先着30人	お名前・ご住所・ご希望の回(開催日)を ご記入の上、お申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-5802 FAX:052-872-1531 ※開催日の1カ月前から、次回開催分の受付を開始いたします。 詳しくはサイエンスカフェ in 名古屋の ウェブサイトをご覧ください。 http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/
7.21 FRI	第122回 「ネット社会の落とし穴 ～インターネット、いま押さえるべきポイント～」 講師:システム自然科学研究科 学内講師 宮原 一弘		
8.25 FRI	第123回 「ゲノム編集で外来魚を根絶へ ～卵を作る遺伝子の働きを抑えて～」 講師:水産研究・教育機構増養殖研究所有種研究センター 岡本 裕之 氏		

夏開催 OPEN CAMPUS オープンキャンパス

2018年4月設置予定!

人文社会学部 7.15 SAT	経済学部 7.22 SAT	総合生命理学部 (仮称・設置認可申請中) 7.22 SAT	医学部 8.4 FRI	薬学部 8.5 SAT	看護学部 8.8 TUE	芸術工学部 8.19 SAT
--------------------	------------------	-------------------------------------	----------------	----------------	-----------------	-------------------

6月15日(木)16時(予定)より本学ウェブサイト「オープンキャンパス」のページで申込み受付開始。
<http://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/event/open-campus/>

寄附顕彰

大学振興基金・名市大生みらい応援基金へのご寄附ありがとうございました。

大学振興基金

■個人	
50,000円以上	青山 香 様、森 亮太 様
10,000円以上	大久保 賢治 様、大島 隆 様、深本 忠男 様、山下 洋司 様、渡邊 保夫 様 荒川 洋 様、井尻 重夫 様、市原 啓善 様、上原 理加 様、面谷 恭平 様、 小山 新一郎 様、金森 由華 様、高田 由紀子 様
5,000円以上	
非公表	青山 高美 様、天野 良一 様、勝見 康平 様、勝谷 亜子 様、國廣 政和 様、 兒玉 浩一 様、小林 真 様、小松 弘和 様、坂下 敬文 様、千田 治光 様、 穂刈 勇 様、松井 宣夫 様、松田 麻希 様、間宮 敦 様、村井 清 様、山本 崇晴 様
■団体	
非公表	日本空調システム株式会社 様

名市大生みらい応援基金

■個人	
50,000円以上	上野 徹 様、森 亮太 様
10,000円以上	清水 米治 様
5,000円以上	井尻 重夫 様、市原 啓善 様、上原 章孝 様、 面谷 恭平 様、小山 新一郎 様、金森 由華 様、 高田 由紀子 様、山田 敦 様
非公表	青山 高美 様、勝見 康平 様、勝谷 亜子 様、 國廣 政和 様、妹尾 恭司 様、松井 宣夫 様、 間宮 敦 様、村井 清 様

※五十音順。2017年1月1日から3月31日までにご寄附いただき、公表に同意された方。
※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。
※古本募金によりご寄附いただいた方につきましては、提携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想を
ぜひ事務局企画広報課までお寄せください!
E-mail: ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

本学教職員の 皆さんへ

広報誌「創新」に掲載したい情報はE-mailで、
広報に関する報告・相談は教職員限定サイト「広報ホットライン」
をご活用ください。